

平成26年度第6回花巻市行政評価委員会会議録

1 開催日時

平成26年8月25日（月） 午後1時30分～午後3時45分

2 開催場所

花巻市役所3階302・303会議室

3 出席者

(1) 委員 17名（委員18名のうち）

鈴木委員長、影山副委員長、瀬川委員、小山田委員、伊藤委員、佐藤忠司委員、高橋誠委員、佐藤裕司委員、中村委員、久保田委員、尾美委員、福盛田委員、木村委員、堀籠委員、折居委員、高橋セキ子委員、佐々木委員

(2) 市・評価対象政策主管部長、施策主管課長、事務局 20名

佐々木財務部長、細川生涯学習部長、高橋教育部長、菊池商工労政課長、高橋観光課長、熊谷地域福祉課長、玉山長寿福祉課長、伊藤健康づくり課長、市川生涯学習交流課長、小田中こども課長、藤田秘書政策課長、松田財政課長、寺林企画調整係長、谷藤同主査、佐藤同上席主任、佐々木同主任、吉田同主任、八重樫経営財務係長、瀬川同上席主任、金澤同主任

4 会議の概要

(1) 開会 藤田秘書政策課長の司会進行により開会

(2) 委員長あいさつ 鈴木委員長

(3) 【部会】部会評価の決定について 鈴木委員長が進行
「しごと」「暮らし」「人づくり・地域づくり」の3部会に分かれて、部会評価の決定について協議

(4) 【全体会】 鈴木委員長が進行

① 評価結果の決定について

部会協議の結果を踏まえ、部会ごとに評価結果を発表（別紙のとおり）

（質疑）

・施策「観光情報の発信」の成果指標として、観光協会HPのアクセス数や、観光施設、イベントが雑誌等で取り上げられた件数を設定しているが、その達成状況を評価するだけでなく、事業には税金が使われているので、その費用対効果についても評価するように取り組んでほしい。

・施策「観光の魅力向上」と「観光情報の発信」の評価検証に係って、県外からの観光客で特に新幹線を利用して訪れる際の各観光施設へのアクセスがわかりづらいと思われるが、この課題についてどのように話し合いが行われたのか。
→観光ルート、アクセスについては、今回の行政評価対象施策からは外れているが、施策1-4-3の移動しやすい観光地というテーマでの問題となってくるた

め、議論の対象とはされなかったところである。

- ・施策「特産品の開発」について、花巻市にはどの程度の特産品があって、それを6次産業化などに結びつけた結果、需要はどのようになっているのかについての話し合いは行われたか。
- 施策を構成する事務事業の1つである企業活動総合支援事業において、花巻産農畜産物を活用した6次産業化に取り組む例として具体的にヒアリング時に確認し、議論された。
- ・施策「自主的学習の推進」の成果指標である市民一人当たりの図書貸出数について、高校生を含む若い人たちの図書館の利用度はどのようになっているのかについての話し合いは行われたか。
- 自主的学習の推進という施策における成果指標の1つとしてのデータであり、若い人たちの状況等の背景まではわかりかねたところであり、そのことについても特段議論はされなかった。部会としては貸出数の背景について気を配って議論したところである。

② 行政評価に関する提言について

- ・事前に配付される資料については、評価する1か月前にはいただきたい。あらかじめ資料に目を通す時間に余裕があれば、より効果的な評価ができると感じた。
- 今年度については、前年度の振り返りとして4月以降、事務事業の評価、施策評価の1次評価の後に2次評価を行いながら、行政評価委員会による評価というタイトなスケジュールで実施しているところであり、ご意見いただいた1か月前までの事前配付については難しい状況でもあるが、可能な限り早い時期での配付に努めて参りたい。
- ・参考資料について、不足を感じた。各課で持っている資料で、評価の参考となるものがもっとあると思うので、提示してほしい。
- ・成果指標の設定について、税金が公平・公正に使われているかという観点は大切である。その意味で予算が市民にきちんと還元されているのかという視点は重要だと思う。経済活動に係る事業についてはその成果であるとか、福祉分野であれば意識がどう変わったかなど、有効な成果指標の設定について今後も研究を重ねていただきたい。
- ・類似している事業が施策をまたがって存在し、それをそれぞれの課で評価を行っているように見受けられる。他課との連携による評価や、評価単位となる施策の設定について検討するべきではないか。

③ 委員会報告書の作成について

事務局案のとおり作成することで決定した。

5 傍聴人数

1人

6 問い合わせ先

花卷市総合政策部秘書政策課企画調整係

電話番号：0198-24-2111（内線212）